



一般社団法人 次世代センサ協議会

Japan Society of Next Generation Sensor Technology

センサエキスポJapan2022(9/14~16 東京ビッグサイト)における次世代センサ協議会関係イベント情報です

SENSOR EXPO JAPAN
センサエキスポジャパン 2022

次世代センサフォーラム2022

主催 一般社団法人次世代センサ協議会
共催 産経新聞社 事業本部 コンベンション事業部

次世代センサフォーラムはセンサエキスポ内に設置するセンサ・センシング技術の最新技術を紹介する研究者・技術者の情報交流パークです

●次世代センサ展示コーナー	大学・研究機関による新技術と試作品展示コーナーです
●センサ技術発表コーナー	大学・研究機関による最新研究成果のWeb発表コーナーです
●センサ技術無料相談コーナー	センサの選択、使い方、こんな計測がしたいなどの相談にお応えします
●IoT・センシング技術 SUCS 体感コーナー	4つの基本機能ユニットによる自在連結システム(SUCS)を体感していただきます

次世代センサ展示コーナー

(地独)大阪産業技術研究所
(地独)神奈川県立技術総合研究所
東北大学大学院理工学研究所芳賀鶴岡研究室
鳥取大学工学部電気情報系学科マイクロデバイス工学研究室
茨城大学工学部
AI・ICT次世代広域応用教育研究センター／国土空間情報研究室
センサ&IoTコンソーシアム
東京医科歯科大学生体材料研究所三林研究室
社会インフラ・モニタリングシステム研究会
海洋計測センサ技術研究会
IoTセンサ技術研究会(IoTセンサラズパイ実習セミナー)
IoTセンサ実習セミナー(Excel センシング実習セミナー)
次世代センサ協議会(協力企業)DogNoseセンサ技研

SUBSEA TECH JAPAN

第4回海洋産業技術展 2022

海洋技術、海洋ビジネスに関する機器、システム、計測センサの技術、情報が一堂に集結します。

主催：産経新聞社
後援：国土交通省、内閣府総合海洋政策推進事務局 他
特別協賛：(一社)次世代センサ協議会 海洋計測センサ技術研究会
企画協賛：(一社)センサ協同協会 スコットランド国際開発庁

出展内容

■検査手法

自動化水産養殖、海洋・河川土木、海洋再生可能エネルギー、
海底エネルギー (石油・天然ガス/メタンハイドレート)、海底資源探査・探掘(熱水鉱床)、
海洋調査

■海洋関連技術・製品

海中ロボット(ASV、AUV、ROV、ドローン)、海洋計測センサ、海中制御機器、
海中通信(音響、光、無線、磁気)、海洋土木関連、海洋・船舶IoT関連、船体安全、FPSO、
FLNG、海底設備検査、海中位置検出、ブルーカーボン、海洋プラスチック対策、
関連するソフトウェア

■ご来場対象者

■海洋技術を求めるあらゆる業種の研究開発者・技術者
■新たな海洋技術の利活用を検討する異業種の関係者 など

SENSOR EXPO JAPAN
センサエキスポジャパン 2022

次世代センサセミナー

主催 産経新聞社 事業本部 コンベンション事業部
後援 一般社団法人次世代センサ協議会

<p>SENSOR EXPO JAPAN センサエキスポジャパン 2022</p>	<p>16-S1 日 時:9月16日(金) 13:00 - 14:30 会 場:東京ビッグサイト 会議棟1階 101会議室 薄膜磁気センサの創始者が語る 「センサ技術の産業社会へのインパクトと未来」</p>
<p>15-S1 日 時:9月15日(木) 13:00 - 14:30 会 場:東京ビッグサイト 会議棟1階 101会議室 見える化、複合計測化、オープン化を推進 「DX社会に向けたセンシング技術の役割と将来展望」</p>	<p>元旭化成株式会社 グループフェロー 公益財団法人野口研究所 学術顧問 柴崎 一郎 氏</p> <p>《講演概要》 AIやIoT、カーボンニュートラル、自動運転等の言葉が熱く語られる時代である。何れもセンサ時代の到来を意味する。 40年余の薄膜磁気センサの研究開発と物造り体験から、今や世界中の人たちに使われ、電子情報産業や車社会、そして未来に繋がる快適環境の維持発展に貢献している高感度磁気センサの開発と意義、センサが引き起こした時代の変革やインベーションや社会へのインパクトを満中になつた当事者が語る。</p>
<p>一般社団法人次世代センサ協議会 会長 東京工業大学 名誉教授 小林 彬 氏</p> <p>《講演概要》 IoT・AI・DX化時代、サービス、流通、アミューズメントなど非製造業分野にまでデジタル化は広がるが、新しい指標を作つて生産性を高めることが喫緊の課題である。我々は生産性2.0と見なし、これに応えるためのセンシング技術の役割と見えてきた戦略(見える化、複合計測化、オープン化)について一緒に考えたい。</p>	